

## 第8回政府間協議について

平成15年3月11日  
文部科学省研究開発局

1．開催日程：平成15年2月18日（火）～19日（水）

2．開催場所：サンクト・ペテルブルグ（ロシア）

3．結果概要：

（1）中国、米国の参加

会議の冒頭で、日本、EU、カナダ、ロシアの既参加4極のみによる会合を開き、米国の参加を確認するとともに、中国の政府間協議への参加を全会一致により承認した。

以降、両国代表団を加えた6極により会合を行った。

（2）近況報告

ロシア：

- ・2005年までの連邦計画に沿って、企業も取り込んでITER活動を実施している。

カナダ：

- ・これまでの資金計画を見直し、連邦政府による費用負担を行うことを検討している。今後のサイト等の決定のタイミングに間に合うよう結論が得たいと考えている。

EU：

- ・フランス政府のカダラッシュサイトへの支持が1月末に正式に確認された。
- ・バンデヨスサイトはスペイン政府により継続的に支持されており、規制当局への正式の許認可の手続きが開始された。

日本：

- ・小泉首相が1月10日と11日にロシアを訪問し、プーチン大統領との首脳会談とクルチャトフ研究所での講演においてITERの重要性に言及した。
- ・木村青森県知事が会合に出席し、国際学校を青森県に作ることを約束するとともに、新幹線の延長と成田空港から青森空港までの

直行便の提案など、最近および将来の公共交通の改善について強調した。

中国：

- ・世界最大の発展途上国として代替エネルギー源の開発を必要としている。
- ・中国はITERファミリーの価値あるメンバーとなり、他のパートナーとともに核融合エネルギー開発の成功のために共に努力したい。

米国：

- ・国内でレビューを行い、ITERへの参加を決定した。今世紀半ばのエネルギーを確保するため、他極と協力し、最短距離で核融合の開発を行っていきたい。

### (3) サイト共同評価についての報告

サブグループ会合からの報告を受け、共同評価が完了したことを確認し、最終報告書を承認した。また、最終報告書を公開することに同意し、即日、国際チームのサイトに掲載された。

中国と米国の代表団が各サイト候補地を訪問することとし、時期については今後調整することとなった。

### (4) 今後の予定

ITER計画の実現を遅滞させないため、以下を並行して行うことに同意した。

- ・知的所有権の扱い等のサイトに依存しない未解決の問題に取り組むための、実務レベルの検討作業
- ・サイト等の決定のためのハイレベル協議に向けての準備会合  
次回会合：第9回政府間協議 5月20～21日 ウィーン

### (5) その他

2004年1月から国際チームエマール暫定リーダーがCERNの所長になることから、エマール氏の任期を2003年6月までとし、その後、現在共同リーダーである下村氏が暫定リーダーとなることが報告された。

